

## 選考委員賞

### 日本の水をみんなで守ろう

南山小学校 五年 鎌田愛文

日本の水は外国の水と比べてみると、とてもキレイで水の量が多い、ということが感じられます。世界各国の水問題と日本の水と比べてみると、より分かりやすいと思います。

例えば、オーストラリアの水不足の問題と比べてみます。オーストラリアの年間の降水量は約四七十ミリリットルです。この降水量はとても少ない量です。そのため、農業に多大な影響を与えています。二〇〇七年、小麦の価格が急激に上がりました。これは、オーストラリアの水不足が原因でした。水不足のため、小麦の収穫量は四割になってしまい、小麦が収穫できなかった農家は生活していけなくなり、自殺してしまう場合もあったそうです。私はこういった水問題が人が死ぬということにつながるとは思ってもいなかったもので、水がどれほど私達の生活にとって大切なものなのかがよく分かりました。

それに対して日本は降水量が世界第三位で世界の平均降水量を上回っているため水不足の心配はいりません。他にも日本は山が多いため木も多く、水不足にならないという理由もあるからです。私が調べた資料にはこう書かれていました。私も確かに日本の水は外国に比べると水の量は多いと思いましたが、このままの水の使い方、つまり、水と一緒に油等の汚れを流す、節水しないなどの使い方をしていると水不足になってしまうのではないかと考えました。

そして、日本の水がキレイだというのは、山が多いことや、ダムや浄水場などの設備が整っていること、浄水場などでの技術が高度であるからです。

しかし、その人の水の使い方によっては生き物に害を与えるものになりかねないので、

日本の水は外国の水と比べてみると、とてもキレイで水の量が多いという利点がありました。しかし、その水は使い方によっては生き物に害を与えるものになりかねないので、

では、私達には何ができるのでしょうか。それは水を正しく使うことです。洗ぎいの量に気をつけること、使った水を再利用すること（節水）などの水を大切に使うことです。

私は水を大切にするために食器についた油を紙等でふいたり、お風呂の水を洗たくなどに再利用してみました。やっけていくうちに、とてもめんどくさくなつてしまい、最初から水を大切に使用していれば良かったと思えました。この水問題をストップさせ、日本の水を守るのは人間しかいません。だからこそ、私は水を大切に使うことをずっと続けたいと思います。